



# 地域住民による自主防犯活動

気楽に・気長に・危険なく

## 自主防犯パトロール活動

犯罪者は「声を掛けられること」を何より嫌います。地域住民一人ひとりが高い防犯意識を持ち、連帯して活動することで、犯罪者を近づけないようにすることが大切であり、自主防犯パトロールは大変効果的です。

主に通学路などでの子ども見守り活動や徒歩での防犯パトロールや、青色回転灯を装備した車両による防犯パトロール活動（青色防犯パトロール）も行われています。



シヨンが醸成され、次代を担う子どもたちの安全確保と非行防止にも大きな力となっています。

## 自主防犯パトロールの着眼点

- 防犯灯の故障や整備の必要な場所はないか。
- 不良少年のたまり場となっている場所はないか。
- 公園などの遊び場、公衆トイレに異常はないか。
- 廃屋、空き家などに異常はないか。
- 見慣れない人(車)はないか。
- 留守宅に不審な人(車)はないか。
- 防犯パトロール隊を見て、立ち去る人(車)はないか。
- 駐車場では車の陰に人がいないか。
- 水難事故の発生するおそれはないか。等

## ながら見守り

子どもたちへの見守りの担い手を増やし、犯罪に対する監視の目を強化するため、多様な世代や事業者が日常生活の機会に気軽に実施できる「ながら見守り」も犯罪抑止には効果的です。

## 「ながら見守り」の例

- 犬の散歩をしながら見守る
- ウォーキングをしながら見守る
- ジョギングをしながら見守る
- 自転車に「パトロール中」等のプレートを付けて移動をしながら見守る
- 農作業をしながら見守る
- 花の水やり・手入れをしながら見守る
- 業務を行いながら見守る

## ホットスポットパトロール

ホットスポット（＝犯罪が起こりやすく、危険な場所）に一定時間とどまるなどの重点的なパトロールを取り入れることも大切です。